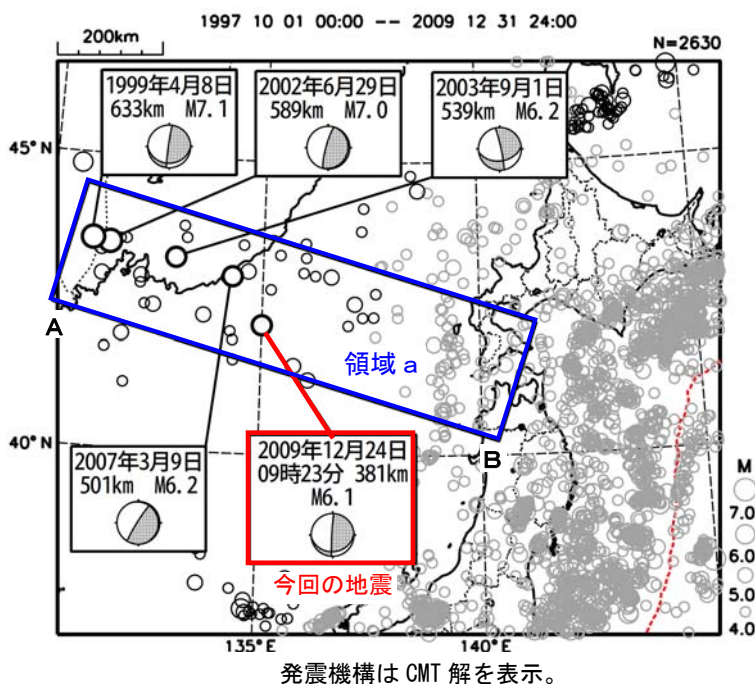
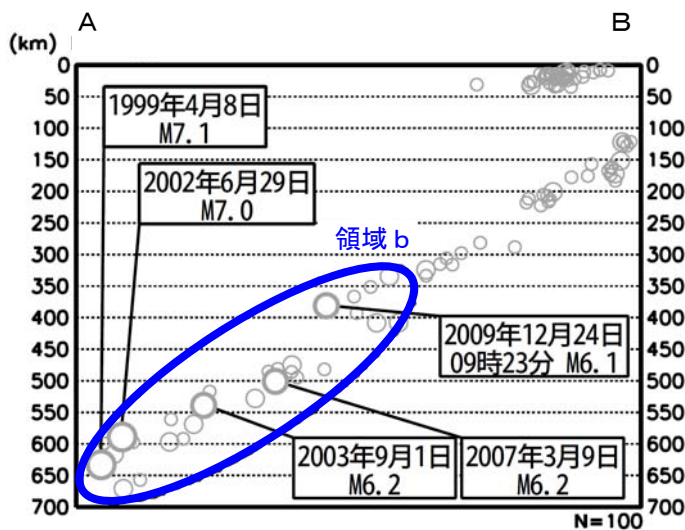


12月24日 日本海北部の地震

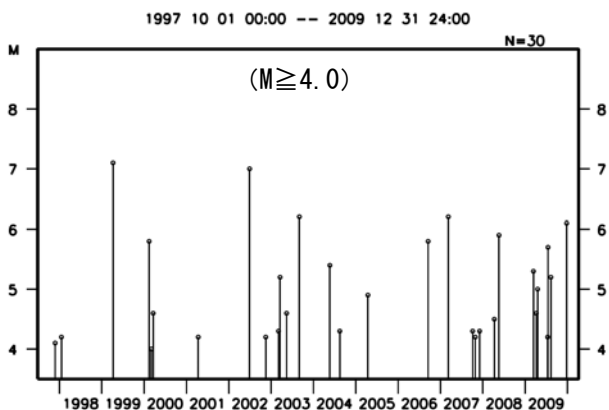
震央分布図 (1997年10月1日～2009年12月31日、
深さ0～700km、 $M \geq 4.0$)
300km以深の震源を濃く表示。



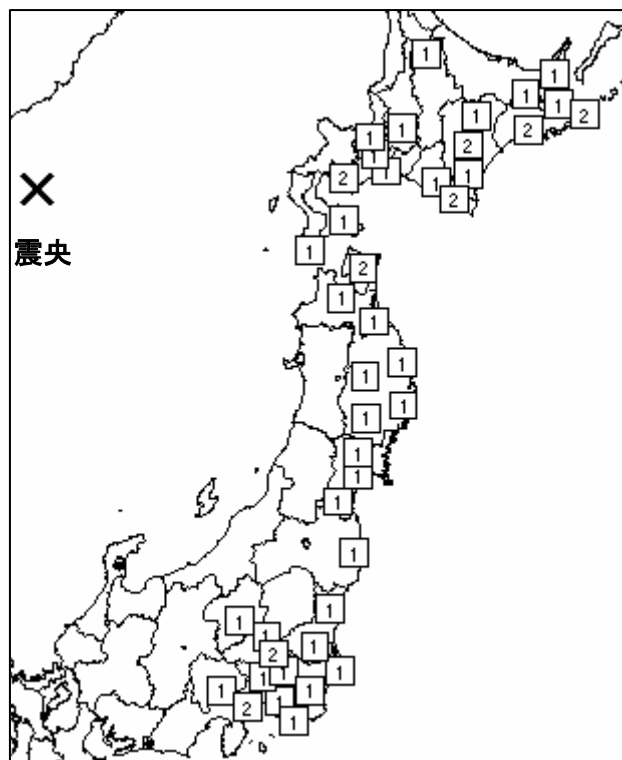
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



領域 b 内の地震活動経過図



震度分布図 (地域震度)



2009年12月24日09時23分に日本海北部の深さ381kmでM6.1の地震(最大震度2)が発生した。発震機構(CMT解)は、プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した地震である。余震は観測されなかった。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M6.0を超える地震が時々発生している。最近では2007年3月9日にM6.2の地震(最大震度2)が発生している。

今回のように太平洋プレートの深部で地震が発生した場合、地震波は太平洋プレートを効率的に伝わるため、震源に近い日本海側よりも太平洋プレートに近接した太平洋側で震度1以上の揺れを観測することがある(異常震域)。今回も同様な傾向が見られた。